

# News Letter

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)



文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)  
YAMANASHI NETWORK  
FOR DIVERSITY & INNOVATION

Vol.2 2021年3月発行

## ご報告

# 令和2年度研究支援が決定しました

### ■共同研究支援制度

本学が代表機関として採択されたダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)では、シミックホールディングス株式会社、株式会社はくばくと共同研究を行う本学の女性研究者を支援します。

昨年末に山梨大学内の女性研究者に対して下記の様な研究テーマに対する研究提案型の公募をかけました。応募いただいた内容について実施機関の担当者間での議論の末に、研究テーマ1に関するもの2件、研究テーマ3に関するもの1件の計3件を今年度の共同研究支援対象としました。今後具体的な研究計画を作成し、共同研究を開始します。

また、研究テーマ1に関する1件と研究テーマ4に関する1件の研究提案については、今年度の共同研究テーマとはならなかったものの、今後の共同研究への展開が期待されるとして、研究支援を行いました。

募集した共同研究テーマ	
1	穀物の機能性に関する研究
2	バイオマス原料としての利用を念頭においた大麦糠の新規活用方法に関する研究
3	働き世代の健康リテラシー、食物リテラシーの向上と行動変容に関する研究
4	共同実施機関によるSDGsへの貢献に向けた研究

### ■地域貢献型女性個別研究支援制度

女性研究による地域の活性化につながる研究を支援します。今年度は各学域からの推薦を得た4件の研究テーマに支援を行いました。

## ご報告

# キックオフシンポジウムを行いました

令和3年3月1日（月）、山梨大学甲府キャンパス大村智記念学術館（Zoom同時配信）において、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）キックオフシンポジウム」を開催しました。

シンポジウムでは、育休後コンサルタントの山口理栄（やまぐちりえ）氏より、「ライフイベントを前提とした女性のキャリア～理工系出身者を中心として～」と題してご講演いただきました。講演では、日本の働く女性の現状や、仕事と育児の両立についてご自身の経験を交えてお話をいただき、講演会後には、講師の山口先生と本学教員・女子学生での情報交換会を行いました。

このシンポジウムには、学内外合わせて88名（会場23名、Zoom配信65名）が参加しました。シンポジウム後のアンケートでは、「実体験のご講演を中心に、とても背景が理解でき、自分のキャリアについても考え直す機会となりました」「活躍されている女性の方の経験談を聞くことができて良かったです」「私も育児中ではありますが、上手く両立しながら仕事をしていきたいと思いました」などの感想をいただきました。



## ご報告

# 英語論文の書き方セミナー（オンライン）を開催しました

令和3年1月15日（金）、山梨大学および山梨県立大学の教員・学生、シミックホールディングス株式会社および株式会社はくばくの社員を対象としたスキルアップセミナー「英語論文の書き方オンラインセミナー」を開催しました。英文校正エナゴの協力を得て、Dr. Montserrat Sanzを講師として招聘しました。

セミナーでは、英語ライティングスキル獲得の重要性や学術論文に頻出する英文法についての知識、読みやすい原稿、実験データを効果的に示す方法などについてご教授いただきました。質疑応答の時間には参加者から多くの質問があり、講師のDr. Montserrat Sanzから熱心な指導をいただきました。

このセミナーには、126名（セミナー後の視聴も含む）が参加しました。参加者の皆さんからは、「先生の話しがとても聞き取りやすく、内容が理解しやすかったです」「先生の英語が大変聞きやすく、プレゼンテーション資料もわかりやすかったため、英語が苦手な私でも得るものがあり、ありがとうございました」などの感想をいただきました。

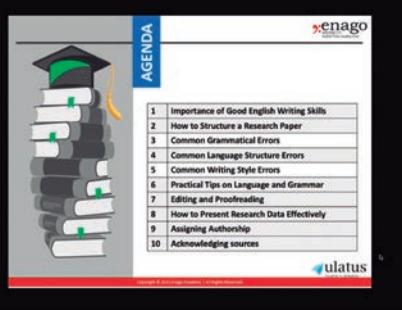
## ご報告

# Yamanashi Diversity Network のホームページおよびロゴマークが完成しました

令和3年2月18日（木）、3機関（山梨大学、株式会社はくばく、シミックホールディングス株式会社）の連携・運営である「YAMANASHI NETWORK for DIVERSITY & INNOVATION」のホームページを公開しました。事業内容の充実を図るとともに、様々な情報を発信してまいります。（<https://diver-danjo.yamanashi.ac.jp/>）



また、本事業におけるプロジェクトのイメージとなるロゴマークを作成いたしました。このロゴマークには、Yamanashi の「Y」とDiversityの「D」の文字を合わせています。「Y」の文字は躍動感ある人のシルエットとし、また、「D」の文字は色数の多さに“多様性”的意味を込めています。



## ご報告

# Researchers Vol.8を発行しました

令和3年3月、山梨大学の研究者を紹介する冊子ロールモデル集『ナシダイ Researchers』を発行いたしました。この冊子では「研究者になったきっかけ」についてだけでなく、「癒し＆気分転換の方法」「中高生におすすめの体験」についてもご紹介いただいています。この冊子は、本学教職員のほか、県内の中学・高校、他大学等へも配布いたしました。ご協力いただいた12名の先生方、職員・学生のみなさまに改めて御礼申し上げます。（後日、Web版をホームページにも掲載予定です。）



進路を模索し、大学進学を目指し日々努力する君。  
各自が未来に自信を持ち目標を進め何を大学で専攻するか、そこまでに何を学ぶか。  
すでに自己実現の道筋を立て、努力を継続して研鑽している研究者として日々奮闘する君。  
送りながら、教育者として、研究者としての日々の活動を紹介していく。  
山梨大学で培ったRESEARCHERS OF YAMANASHI VOL.8  
その探究心を伝え続ける人々の考え方と日常を紹介しよう。  
明日への糧となることを願いつつ。

## 山梨大学 地域人材養成センター／男女共同参画推進室

〒400-8510 甲府市武田4-4-37 B1-213号室 TEL: 055-220-8350 FAX: 055-220-8351 E-mail: [danjo@yamanashi.ac.jp](mailto:danjo@yamanashi.ac.jp)  
HP: <https://diver-danjo.yamanashi.ac.jp/>